

佛を寫し、「から衣きつゝなれにしつましあればはる／＼きぬる
たひをしぞおもふ」と洒落たるは勞尠くして功多く、合せて東下
りとは優にやさしき意匠にて平素の御修養のほども思ひやられて
奥床しき漆工の考案。

さてまた鑄金工場の前には高さ二丈に餘る龍頭の大噴水あり、
その頭部は臘、胴軀は杉葉を以て作り本水を利用したるは當日の
壯觀。又同仕上工場の中には辨慶釣鐘を提げて叡山に登らんとす
るところの造り物は、藁と布とを用ひたり。

工藝科の二階には文人、女、軍人其他の張拔人形を出して景氣を
添へ、同科庭前の櫻樹より椎の大木へ荒繩を編み付け、それに笊
と針金を利用して蜘蛛の巢がらみを見せたるは奇抜なる意匠とや
申すべし。

また、校庭（彫金科前の広場）には岡野菓子店、松のすし店、石崎
酒店、厚生舎牛乳店、亀谷麵包店、松茸飯店、都新聞の飴屋店、
柿、林檎等の水菓子店、西洋料理の長光亭、村井の煙草店、記念菓
焼店などが店を並べた。記念菓焼店は板谷勤川（嘉七・波山）が中心
となつて開いたもので、大繁昌であつた。校内は觀衆で立錐の余地
なき有様となり、その中には川上音二郎と貞奴の姿もあつたといふ
（『美術新報』第二卷第十七号。明治三十六年十一月五日）。混雜緩和のた
め本校の依頼で下谷警察署長以下六十五名も出動した。

⑩ 明治三十年代半ばの参考書

『東京美術学校校友会月報』第一卷〜第三卷には「問答」欄が設

けられていて、校友会員の質問とそれに対する応答が記されている
が、そのうちの参考書に関するものには興味深いものがある。

まず、第一卷第四号では西洋名画に関する図書についての「谷」
（鎌太郎）の問いに対して「米利堅生」（久米桂一郎または岩村透）は次
のように答えている。

「上略」記者の承知致居候處にては、蒐集範圍の汎くして、印刷
鮮明、且價格の廉なるは、獨逸出版の美術帖にて「Der Stil」(In den
bildenden kunsten und gewerben herausgeben von Geog Hirth)と申
ものに候、代價は一帖十二枚入一マルクにて、既に出版相成候分
にても千枚近くに相成候間、完結の上は幾千枚と云ふ數に可相
成、充分完全のものと存候。ルーブル美術館、ナシヨナル、ガレ
リー其他全歐至る處、著名の美術館にては、夫々所藏の名畫を上
梓出版致居り、完全のものも、夥しく有之候得共、是等は代價の
稍高き爲、誰の手にも容易く入り得べきものに無之候。例へば千
九百九十九年巴里美術書出版協會より刊行相成候、Le Musée du
Louvre などは、甚だ完全のものには候得共、全部六冊出版當時
の正價五百フランと云ふ高値に御座候。尙又殆ど同時に出版され
候、The National Gallery と申候は、ロンドン、カツセル社よ
り出版致候ものにて、全部三冊豫約當時の正價七十圓、今日は百
七十圓と云ふ高價にて賣買致居候。斯の如き次第にて、完全のも
のは何程にても有之候得共、直段の高き爲我々貧書生の懷中にて
は到底話に相成不申候。

直段の最も廉にて、我々日本學生の財布に最も適當し、且研究

材料としても、最も有益なるは、近頃米國ボストン府の出版社より出版被致候、Perry Pictures に候。畫の大きは凡そ三寸に四寸位にて、印刷甚だ鮮明、紙質も頗るよろしく、且紙面全鉢の大き、小きき爲め（凡そ六寸に四寸五分）机上の取扱にも、至極便利に候。直段は壹枚二錢、二圓にて百廿枚と云ふ廉價に候得ば、如何なる貧書生も少々の儉約にて、座右に世界美術の寶庫を備へ得る事に候。出版處は The Perry Picture Co., Maduen, Mass. U. S. A. にて申込次第、先方より目錄を送附すべく候間、それに就て御撰擇の上、御注文なさるべく候。見本及目錄は美術學校文庫へも參居候間、御序之節御覽被成度候。

以上申述候ものゝ外、水彩畫とか、或は英國畫とか、區域の小なる蒐集も有之候。此種のものにて目下評判のものは、English Water-Colour と申し、英國近代名家の水彩畫を三色版に印刷致したるものに候。全部八帙にて代價十六圓に候。尙又カッセル社より出版致候、The Nation's Picture も、矢張三色版にて印刷致したるものにて、こは汎く英國近代の名畫を集めたるものに御座候。

此外年々其年の展覽會に現はれたる作品を集め、出版致候もの有之候。其最も我國に名を知られ居候は、Royal Academy Pictures (カッセル社發行、五冊完結一冊價四十セント) 即ちロンドン、ローヤル、アカデミー展覽會畫集と Figaro Salon (毎年發行凡そ十冊乃至十二冊完結、價一冊三フラン五十サンチーム) 及び Catalogue Illustré (兩サロン挿畫目錄各一冊、毎年發行、價一冊三フラン半) に候。是等は大抵は丸善に參居候間同書店より

御買入御自由に御座候。

雜誌類にて最も有名なるは、佛の Gazette des Beaux-Arts, Revue de L'art Ancien et Moderne 及び Art et Decoration (前二雜誌各々一年分代價凡そ卅圓毎月一回發行) 英の Art Journal, Magazine of Art, International Studio (各金八圓より十二圓位迄孰れも月一回發行) 獨の Kunst und Decoration, Moderne Kunst 及び伊の L'Arte Italiana, Emporium, 等に御座候。此外圖書教育家、又畫學生向の雜誌としては、米の Art Amateur. (月一回一年凡そ十圓) Art Interchange. (凡そ前同様) Masters in Art (一ヶ年凡そ三圓) 及び英の Artist など御座候。〔下略〕

第三卷第九号では谷録太郎の問いに対して同じく「米利堅生」が Der Still の取寄せ方や前回引用諸雜誌の性格、およびそれらは大概文庫で購入していることなどを答えている。

第二卷第七号には同じく谷録太郎と「米利堅生」の問答がある。

これは西洋美術史の参考書(英文)に関するもので、次のような答えが記されている。

〔上略〕先づ美術史と申しても、其程度に依て様々に御座候。中學校ぐらひの教科書として用ひ居候至極簡略のものに TURNER 或は DE FOREST など澤山の美術史有之候得共是等の程度のもものは餘りに簡略にて、却て理解に困難かと被存候。今尠しく精しきものにては挿畫多く安價の W. M. H. Goodyear—“Roman and

Medieval Art” 同著者の “RENAISSANCE AND MODERN ART” など有之候(代價は一冊一弗出版處は CHAUTAUQUA—CENTURY PRESS, MEADVILLE, PA. U. S. A.) 孰れも三百頁位ひの書物に候、唯だ古代希臘の部分のなきは残念の事に候。同じ著者の “A HISTORY OF ART” は一冊ものにて、至極面白く纏めたるものに候へ共、尠しく建築に偏したる氣味有之候、簡略のものの中には此書なぞ宜敷かと思はれ候。獨逸書より翻譯したる REBER—“HISTORY OF ANCIENT ART” 同し著者の “HISTORY OF MEDIEVAL ART” (HARPER & BROTHERS, NEW YORK) は専門家の間には至極持て難き居候美術史に候得共至て興味なき堅苦しき、矢張建築に傾きたる書物に候。代價は一冊七圓、頁數は六七百頁づゝの書物に候。同じく獨逸より譯したるものにて LÜBKE—“Outline of the History of Art” (DODO, MEAD & Co. NEW YORK 代價二冊にて十五圓) なる二冊本有之候。此方はレーベルの書と比較すれば餘程趣味は有之候得共、幾分か文學的臭味を帯びて、素人向の心地有之候。同じものを近頃増補してドット、ミード社より出版致したるよし新聞紙上に一見致し候得共如何なるものなるやは未だ承知不致代價は餘程高價の様に覺居候。小生一箇人としては三部別々に出版相成居候 HAMLIN—“HISTORY OF ARCHITECTURE”, MARQUAND AND FROTHINGHAM—“HISTORY OF SCULPTURE”, VAN DYKE—“HISTORY OF PAINTING”, (LONGMANS, GREEN & Co. NEW YORK) 御勤め致候。代價は一冊四圓、全部十二圓、丸善中西

屋にも参り居候。

第三卷第三号の「問答」欄は徳田鎬一の各種参考書および本校講演筆記等に関する問いと屋代晁江の回答である。屋代は邦文図案法参考書は未だ出版されておらず、遠近法については英国ウィリーの原著の翻訳を図画教育会が漸次『図画教育』の附録として添付していると述べたあと、次のような参考書リストを掲げている。これによって当時の美術学生が用いた主な参考書を知ることができよう。

△美術史の部

日本繪畫史(横井時冬著) 一冊 金七十錢

日本橋區本町三丁目、金港堂發行

西洋美術史要(岩村透著) 第一編 伊太利繪畫の部 一冊

金八十五錢

日本橋通二丁目、嵩山房發行

△美學の部

近世美學(高山林次郎編) 一冊 金三十三錢

日本橋區本町三丁目、博文館發行

審美綱領(森林太郎 大村西崖 共著) 二冊 金一圓二十錢

審美新説(森林太郎著) 一冊 金五十四錢

右二種は日本橋區通四丁目、春陽堂發行

△考古學の部

西洋考古學(久米桂一郎著) 一冊 金九十錢

此書は普く發賣するものに無之、有志者の發刊に係る所に候。校友諸氏には本校會計係にて、分配可致候

△教育學及教授法の部

教育學教科書（大瀬準太郎著）一冊 定價不明

日本橋區本町三丁目、金港堂發行

文部省 講習會 圖書教授法（白濱徵著）一冊 金八十錢

京橋區銀座一丁目、大日本圖書株式會社

圖書教授法（柿山蕃雄著）一冊 金八十錢

松田茂著）一冊 金八十錢

圖書講話（志賀靜山著）一冊 金六十錢

神田區神保町六、上原書店發行

圖書教授法（西松團三著）一冊 金七十錢

日本橋區本石町三、寶文館發行

△用器畫法の部

新撰女子用器畫（白濱徵著）一冊 金三十錢

日本橋區本町三丁目、金港堂發行

用器畫法（平瀬作五郎著）一冊 定價不明

同 （竹下富次郎著）一冊 同

日本橋區通三丁目、丸善株式會社發行

用器畫教科書（寺野精一著）全六冊 金一圓七十錢

日本橋區通三丁目、金港堂發行

△建築學の部

大建築學（三橋四郎著）三冊 金七八圓位

〔出版社名記入なし。〕

△黑板畫の部

繪畫捷徑（遊佐誠甫 共著）四冊

一名應用黑板畫、動植物部金十二錢、植物部金十五錢、庶物部金十六錢、雜部近刊、

塗板畫集（柿山蕃雄 共著）全部十二冊

日本橋區本石町三丁目、金昌堂發行

松田茂 共著）全部十二冊
國語教授適用八冊、修身教授適用四冊、定價不明、日本橋區本銀町三丁目、
鐘美堂發行